

支部だより

第一回支部展報告
栃木支部長 増野 喬

初めての支部展であり不安もあったが本部及び支部会員の協力のもと無事終了することが出来た。ギャラリーの確保が当初五月の予定が三月となり早めの開催となった。

支部会員八名が手分けをして出品者の募集を行い十六名の出品者を確保することが出来、賛助出品者を含め二十名となった。出品点数は小品を含め四十七点であった。

本展出品者や県展出品者の力作が出品され、抽象画から具象画、水彩、油彩、アクリル画など多彩で中味の濃い展示内容となった。又賛助作品が展示内容に厚みをもたらした。第一回目の支部展とは思えないとの感想も聞かれた。

天候がすぐれない日々であったが、トータル来場者は四五七名、一日平均九二名とまずまずの来場数である。文化センターには五つのギャラリーがあり同時に各ギャラリーで展示会が開かれ、相乗効果もあった。又新聞掲載の効果も大で、新聞を見ての来場者も多かった。

入場者の感想は概ね好評で、本展への出品希望者、支部への入会希望者もあり今後に期待が持てる状況となった。



地元下野新聞により大々的に報道された



課題としては新日美の知名度アップ、支部会員の二十名確保と小品展などを含め定期的な展覧会の実施である。最後に本部及び各委員の皆様方のご援助に深く感謝申し上げます。

京都支部展を終え 北口 夢石

第二十三回新日美京都支部展を平成二十八年三月十六日(水)から三月二十日(日)京都府京都文化博物館で開催いたしました。絵画の部が十名三十三点、工芸の部が四名二十点、三月十五日(火)正午から搬入飾付で業者の方二名に設置を依頼して、支部会員全員で飾付を終えました。

私事で恐縮ですが、これ迄は工芸部私一人で淋しかったですが、お陰様で陶芸二名、木工芸一名、箔工芸一名と四名になり、飾り映えもして、絵画部門と共に鑑賞下さる方々に御満足頂ける事と存じました。会期中は天候にも恵まれ、一日平均百三十名以上、最終日は百六十名と七百名近くの方々に鑑賞いただきました。

当番の方は朝の開錠夕の閉場と責任を持つて頂きましたが、会員は代わり代わり毎に顔を出して、御来場の方と面談再会を楽しみ、次なる作品に意欲を燃やしております。

最終日は午後三時に閉会、全員で後始末を終え控室にて平成二十八年年度定期総会を開き、事業報告、会計報告、事業計画、予算計画、他諸々の事項等、飯村事務局長と支部会員の尽力で恙なく終え、来年の巡回展で本部の方のお働きを学び、お手伝いさせて頂ける事を今から楽しみにして居ります。

他の支部会員の方々も早春の京都に是非お越しくださいます様お待ちして居ります。

幽玄な余情がある。是非またスケッチブックを持って一筆走らせたもののである。

次回予定

当日朝7時の天気予報で降水確率50%を超える場合中止します。

○目黒川太鼓橋と桜 2016-4-7(水)
JR山の手線目黒駅中央改札口 10時集合

目黒川は最近梅の名所として有名になりつつある。太鼓橋は歌川広重の「名所江戸百景」にも描かれているがそれは冬景で当時の橋は石造りだった。この橋のたもとに「太鼓うなぎ」という庶民的な料亭があって、梅の時期には川沿いに設置されたボンボリ行燈の灯りで夜桜を眺めながら蒲焼きで一杯なんていう楽しみがあった。残念ながら今はこの店もなくなってしまい、太鼓鰻の蒲焼きを愉しむことはできなかった。スケッチの後は近くの蕎麦屋がいいだろう。

スケッチ会の実施報告と次回予定
事業部 一柳 幸

2016-1-27(水) 上野両大師

天気晴朗で日の光も和やかな一日だった。上野駅から徒歩7~8分の処に、このような静かな佇まいの寺があるのをあまり知られていないようだ。この日境内は人もまばらで落ち着いた雰囲気だった。2月3日の節分の日が近づいているからその旗が何本も立っている。その日は多分参詣の人も多いであろう。本堂前の桜の古木が素晴らしい。「御車返しの桜」という名だそうで京都にゆかりがあるようだ。芽がだいぶ膨らんでいる。今日は大変良いスケッチ日和だった。



ながらこれまでさんが池を何度もスケッチしたが、此の池の雨の風景をまだ見たことがない。どんな風景かなと想像したらどうしても見たくなくて単独で出掛けて現場を見ることにした。現地に来た時は既に雨だった。晴れた日には見られぬ雨の水面の面白さ、池の周辺の木立や梢に光る水滴、そして遠方の雑木林の雨にけぶる風情、晴れた日には見られない情景がそこに在る。3月とはいえ寒い日である。まさしく氷雨のさんが池である。絵描きにとってはこれまた良い題材であろう。管理事務所のヴェランダの軒下で一筆スケッチして帰路に就いた次第。過去、何回かさんが池をスケッチして恒例だったのが大船駅前の観音食堂で杯を交わしながらの親睦画評会だった。今日は単独だから独盃でうまい魚料理を、と狙ったのだが水曜日は定休というので残念、お預けとなってしまった。さんが池は春夏秋冬いつ訪れてもスケッチに良い対象である。都会から近いところに在りながら

2016-2-10(水) 浅草寺雷門

この日太陽は照っていても風の冷たい寒い一日でした。雷門を描くにはビル陰で寒すぎる状態なので日当たりの良い所を求めてそれぞれ境内に散った次第。ところで何とこの浅草にも「爆買」の外人が多く、チャイナ語が多く飛び交ってオドロキである。こちとらもつばら「爆筆」と行こうと描きまくるのだった。浅草寺本堂の偉容も素晴らしいが山門の堂々たる構えに引かれて筆を運ばせてみた。が、難しい題材である。筆を置いてから有志数人で神谷パーの電気プランで合評会となった、有終の美でした。

2016-3-9(水) 鎌倉さんが池

朝の天気予報では降水確率80%のことだから当然のこと中止である。しかし